



トッキーの 市政トーク

四日市市長
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、まちづくりに関する「アイデアオリンピック」についてお話しします。

私も、市長に就任後、産業・教育・文化・観光などの分野で、自分自身のアイデアを生かして政策として実現してきましたが、私や市職員のアイデアだけでは限界があります。

そこで、中心市街地活性化策、文化・観光振興策など、“四日市のまちづくり”について、市民の皆さんからアイデアを募集しました。

まちづくりに関する「アイデアオリンピック」

市民の視点から、自由で斬新なアイデアを寄せていただこうと実施したところ、計41件のアイデアをいただきました。

例えば、市民の皆さんに、市政や市の魅力などへの関心を持ってもらうため、まずは子どもに“四日市かるた”を普及させたらどうかという提案。

また、JR四日市駅周辺の活性化策として、JRとの合意が必要ですが、駅前広場に市民が憩える場所を確保し、駅の中に、特産品であるお茶やそうめんをPRするスペースを設けるという提案もありま

した。その他にも、コンビナートの夜景やとんてきなどのLINEスタンプを作成してシティセールスに活用する、中心市街地にそば打ちやピザづくりの体験道場を設けるなど、バラエティーに富んだ提案をいただくことができ、大変感謝しております。

こうしたアイデアも参考にしながら、「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指し、元気で魅力あるまちづくりを進めてまいります。



四日市のことが遊んで学べる“四日市かるた”

生活を支える上下水道

先日、四日市市指定上下水道工事業者協同組合の設立50周年記念式典に出席しました。

50年前というと、東京オリンピックが開催され、東海道新幹線が開通するなど、まさに日本の高度経済成長が軌道に乗りつつあった頃です。それから半世紀にもわたり、組合加盟事業者の皆様には、上下水道の普及・整備を通じて本市に貢献していただいております。

上下水道は、産業の発展や市民の便利で快適な生活を支える重要な都市基盤です。これからも、整備



式典で祝辞を述べる市長

を着実に進めるとともに、築き上げてきた上下水道を適切に維持管理し、さらには、災害にも強い施設づくりを目指してまいります。

トピックス

災害時における報道に関する協定

三重エフエム放送株式会社と「災害時における報道に関する協定」を締結しました。

この協定は、市内で地震や風水害等の災害が発生または発生が予測される場合に、災害情報を市民の皆さんに迅速に伝達するという趣旨の協定です。

今後は、従来から行っている緊急告知ラジオの起動による情報の伝達に加え、市内の被害状況やライフライン、避難に関する情報等を三重エフエム放送の番組の中で放送できるようになります。

災害時に、市民の皆さんに適切な行動をとっていただくためには、信頼性のある情報を迅速に発信していくことが重要です。

市民の生命最優先の方針のもと、被害を最小限に食い止めるため、より災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。



三重エフエム放送社長(右)と市長

スマホ、タブレット、PC、使いこなせずに、困っていませんか？

お宅へ訪問、レッスン・サポートいたします。ご自身のマシンで習得できます。

たとえば、訪問指導 50分 2,000円、PC・スマホ初期設定 20,000円、出張費 1,000円（すべて税込）



6月末までキャンペーン価格です！

詳しくはお問い合わせください。

障がい者の方、高齢者の方、対応可能です。

<http://hompo.jp/>

このほか、トラブル対処、講習会講師、ITに関するコンサルタント、ホームページの作成、フォトブックの作成など請け負います。

システム本舗えふ

512-0921 四日市市尾平町 3768-107

TEL:050-5879-3315/090-7315-2023

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,688人 [12月末日現在(前年比-448)] ■火災件数 13件 [12月分(前年比+7)] ■交通事故件数 1,134件 [12月分]